

疾病対策課

V 疾病対策課の業務概要

疾病対策課は、結核予防事業、感染症予防事業、エイズ対策事業、原爆被爆者対策事業等を主業務としている。また、感染症健康危機管理事業として、訓練や会議を通して地域の健康危機管理体制の整備、連携強化をはかっている。

1 結核予防事業

平成 28 年の結核患者の新登録患者数は 102(前年 96)人、罹患率(人口 10 万対)は 12.8(前年 12.2)であった。なお、肺結核のうち塗抹陽性患者の占める割合は 34.7(前年 43.8)%とやや減少した。(表 1-(1)、(2))

感染症診査協議会への報告・諮問件数は、感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律第 18 条に基づく就業制限通知が 40(前年 43)件、同法第 19 条及び第 20 条に基づく入院勧告が 134(前年 170)件、同法第 37 条の 2 に基づく医療費公費負担診査が 231(前年 195)件であった。(表 1-(10)、(11))

DOTS(直接服薬確認療法)の強化を目的に、DOTS 支援員の派遣、薬局 DOTS の実施により個々の患者に対する服薬支援の向上に努めた。

平成 19 年 4 月に感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律(感染症法)に結核予防法が統合され、結核は 2 類感染症とされたが、本事業概要では結核に関しては結核予防事業として、感染症予防事業に含めずに計上する。

2 感染症予防事業

平成 28 年は、感染症法に基づく 1 類・2 類(結核は除く)感染症の発生はなく、3 類感染症は 19 人(前年 27 人)、4 類感染症は 19 人(前年 11 人)、5 類感染症(全数把握対象分)の発生は 125 人(前年 64 人)であった。5 類全数のうち、13 人は、平成 27 年 3 月の麻しん排除後初の国内アウトブレイク事例によるものである。

感染性胃腸炎の施設内集団発生の現地調査・指導件数は 45 件(前年度 29 件)、相談対応件数は 42 件(前年度 21 件)であった。乳幼児施設・学校・高齢者施設等で発生していた。(表 2-(7)-オ)

平常時対策として、医療機関の立入検査、老人介護保健施設の監査指導の際等に、院内・施設内感染対策の視点から助言・指導を実施した。また、医療機関を対象に、研修会を開催し、院内感染対策に関して周知徹底を図った。また、高齢者施設や乳幼児施設に対し研修会を開催し、施設内感染症対策の周知を図った。

感染症情報の迅速な共有と関係機関の連携強化のため、平成 24 年 8 月から『松戸保健所感染症情報ネットワークシステム』を運用し、感染症発生状況、法改正の情報等を発信している。

感染症健康危機管理事業としては、事案の発生に備え、県内関係各機関との連絡体制を確認するとともに、県疾病対策課主催の感染症患者移送に係る合同実地訓練に参加し、連携を深めた。

地域においては、新型インフルエンザ等感染症発生時の体制整備のため、病院及び診療所において地域感染期の訓練を実施するとともに、新型インフルエンザ等地域医療委員会を開催し、情報共有をはかった。

更にMERSの発生に備え、関係機関と合同で検体搬送訓練を実施した。また、各市・消防や警察と情報交換会の開催により、情報の共有、連携強化を図っている。

所内では、患者発生時に備えて必要物品や所内体制を確認し、全職員を対象に、防護服着脱訓練、N95マスクフィットテストを実施した他、車いす型アイソレーター使用による感染症患者の移送訓練を行った。

3 エイズ対策事業

HIV抗体検査は昼間・夜間対応で実施し、平成28年度は374件であった（表3-3）。同時に梅毒・クラミジア等性感染症、肝炎対策事業として肝炎検査を実施している。

エイズ予防啓発事業としては、学校管理者及び養護教諭、保健主事や保健体育教諭等、対象別に研修会を開催し、学校における性感染症予防や性的マイノリティ（LGBT）に関する啓発に努めた。

4 原爆被爆者対策事業

「原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律」に基づき、被爆者手帳交付者に対し各種手当を支給及び被爆者の定期健康診断を年2回実施した。

1 結核予防事業

(1) 管内結核患者登録者数の動向

表1－(1) 登録者数の年次推移

(単位：人)

年		平成						
区分		8年	13年	18年	23年	26年	27年	28年
管内人口		460,873	467,197	474,934	783,415	784,424	789,308	796,479
新登録患者数		109	116	88	139	94	96	102
年末時登録者数		350	295	337	358	256	242	241
結核死亡者数	管内	3	4	8	11	7	3	7
	千葉県	95	78	86	67	55	68	71
結核死亡率 (人口10万対)	管内	0.7	0.9	1.7	1.4	0.9	0.4	0.9
	千葉県	1.6	1.5	1.7	1.3	1.6	1.3	1.3
罹患率 (人口10万対)	管内	23.7	24.8	18.5	17.7	12.0	12.2	12.8
	千葉県	25.4	23.2	20.0	16.3	13.8	13.7	14.2
有病率 (人口10万対)	管内	25.8	32.1	13.9	10.8	7.6	9.1	8.7
	千葉県	30.3	25.4	14.6	11.4	8.8	9.0	9.1

(注) ①人口は各年10月1日千葉県常住人口による。

②千葉県のデータには千葉市を除く。

③新登録患者及び登録者数は、無症状病原体保有者・疑似症患者を除く。

④罹患率：新登録活動性結核患者数×10万 /人口

有病率：年末時活動性結核患者数×10万 /人口

(2) 新登録患者数

表1-(2) 新登録患者数(活動性分類別)

(単位：人)

年 市町村	総 数	活 動 性 結 核					罹 患 率 (人 口 10 万 対)	肺 結 核 の う ち に 占 め る 割 合 (%)	無 症 状 病 原 体 保 有 者 (潜 在 性 結 核 感 染 症)	疑 似 症 患 者	結 核 死 亡 者 体	結 核 死 亡 疑 い 者 体
		計	活 動 性 肺 結 核			肺 活 外 動 結 核 性						
			陽 咳 痰 塗 性 抹	結 核 菌 陽 性	そ の 他 の 陰 性							
平成 26 年	94	81	37	30	14	13	12.0	45.7	84	-	1	-
平成 27 年	96	73	32	30	11	23	12.2	43.8	49	-	-	-
平成 28 年	102	75	26	33	16	27	12.8	34.7	52	-	-	-
松 戸 市	62	50	16	23	11	12	12.8	32.0	35	-	-	-
流 山 市	23	14	6	5	3	9	12.8	42.9	11	-	-	-
我 孫 子 市	17	11	4	5	2	6	12.9	36.4	6	-	-	-

(3) 年末時登録者数 (活動性分類別)

表1-(3) 年末時登録者数(活動性分類別)

(単位：人)

年 市町村	総 数	活 動 性 結 核					不 活 動 性 結 核	不 明	有 病 率 (人 口 10 万 対)	無 症 状 病 原 体 保 有 者 (潜 在 性 結 核 感 染 症 (別 掲)	
		計	活 動 性 肺 結 核			肺 活 外 動 結 核 性				治 療 中	観 察 中
			陽 咳 痰 塗 性 抹	結 核 菌 陽 性	そ の 他 の 陰 性						
平成 26 年	256	46	24	15	7	7	154	49	6.8	28	161
平成 27 年	242	54	27	17	10	18	121	49	9.1	25	140
平成 28 年	241	52	21	24	7	17	136	36	8.7	37	110
松 戸 市	166	35	14	16	5	7	97	27	8.6	26	74
流 山 市	46	9	4	4	1	6	26	5	8.4	6	21
我 孫 子 市	29	8	3	4	1	4	13	4	9.1	5	15

(4) 新登録患者数 (年齢階級別)

表1- (4) 新登録患者数(年齢階級別)

(単位：人)

年 市町村	区分	総 数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
			9 歳	19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳	69 歳	79 歳	89 歳	90 歳 以上
平成 26 年		94	-	1	5	6	12	10	13	18	20	9
平成 27 年		96	-	-	8	7	8	11	8	24	21	9
平成 28 年		102	-	1	13	5	18	8	13	13	19	12
松戸市		62	-	1	11	5	11	4	6	5	12	7
流山市		23	-	-	1	-	4	3	7	2	3	3
我孫子市		17	-	-	1	-	3	1	-	6	4	2

(5) 年末時登録者数 (年齢階級別)

表1- (5) 年末時登録者数(年齢階級別)

(単位：人)

年 市町村	区分	総 数	0	10	20	30	40	50	60	70	80	90
			9 歳	19 歳	29 歳	39 歳	49 歳	59 歳	69 歳	79 歳	89 歳	90 歳 以上
平成 26 年		256	-	1	21	34	29	25	44	41	46	15
平成 27 年		242	-	1	19	20	26	30	38	48	47	13
平成 28 年		241	-	2	23	17	38	29	32	40	45	15
松戸市		166	-	2	21	13	26	20	23	25	29	7
流山市		46	-	-	1	4	9	7	6	7	8	4
我孫子市		29	-	-	1	-	3	2	3	8	8	4

(6) 患者面接実施状況

表1- (6) 患者面接実施状況

年		区分	人数(人)	DOTS内容(延件数)											
				登録時喀痰塗抹陽性						喀痰塗抹陰性			潜在性結核		
				入院時			退院後			訪問面接	所内面接	電話・その他	訪問面接	所内面接	電話・その他
				訪問回数	左の内訳		訪問面接	所内面接	電話・その他						
初回	期間内	退院前													
平成26年度	保健師	3	131	37	74	20	178	50	275	15	114	285	8	54	180
	DOTS支援員	2	-	-	-	-	37	-	-	-	-	-	-	-	-
平成27年	保健師	2	84	33	21	30	149	50	767	38	94	161	5	65	38
	DOTS支援員	3	-	-	-	-	14	-	318	-	-	595	-	-	410
平成28年	保健師	3	156	32	94	30	150	80	80	62	90	34	36	60	24
	DOTS支援員	2	-	-	-	-	-	-	80	-	-	290	-	-	216
平成28年患者数(人)			26						76			48			

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

(7) DOTS実施状況

表1- (7) DOTS実施状況

(単位:人)

年		区分	全 結 核 患 者			潜在性結核感染症
				肺結核患者(再掲)		
				肺結核患者	肺結核喀痰塗抹陽性患者(再掲)	
平成26年	実施者数	70	63	30	77	
	患者数※	73	66	30	79	
平成27年	実施者数	77	33	29	49	
	患者数※	73	66	30	79	
平成28年	実施者数	101	75	30	45	
	患者数※	104	77	30	48	

※前年の新登録患者数(転入者を含み、治療開始1ヶ月未満に死亡した者及び転出者を除く)。

※平成27年1月7日付け健感発0107第1号厚生労働省健康局結核感染症課長通知「結核に関する特定感染症予防指針」に掲げる具体的な目標の計算方法について(情報提供)」を参照

(8) 結核接触者健康診断実施状況

ア 家族健診実施状況

表1-(8)-ア 家族健診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 (%) ②/①	実施件数 (延件数)	実施項目 (延件数)					結果 (実人数)				
					I G R A ※	ツ 反	エ ッ ク ス 線	喀痰検査		異常なし	発病のおそれ	潜在性結核感染症	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
								塗 抹	培 養					
平成26年度	223	199	89.2	268	89	3	176	-	-	190	2	5	2	1.0
平成27年	148	146	98.6	258	76	9	173	-	-	131	6	9	-	-
平成28年	131	127	96.9	232	84	1	145	1	1	113	-	12	2	1.6
保健所	/			164	68	-	94	1	1	/				
委託分				53	16	1	36	-	-					
その他				15	-	-	15	-	-					

※保健所採血等による実施は保健所に、受診券による実施は委託分に計上

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

イ 接触者健診実施状況

表1-(8)-イ 接触者健診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 (%) ②/①	実施件数 (延件数)	実施項目 (延件数)					結果 (実人数)				
					I G R A ※	ツ 反	エ ッ ク ス 線	喀痰検査		異常なし	発病のおそれ	潜在性結核感染症	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
								塗 抹	培 養					
平成26年度	1,265	1,219	96.4	1,496	412	153	931	-	-	1,175	23	17	4	0.3
平成27年	839	803	95.7	1,134	323	20	791	-	-	728	46	23	1	0.1
平成28年	969	937	96.7	1,306	574	4	722	3	3	828	78	27	4	0.4
保健所	/			717	409	-	308	-	-	/				
委託分				474	164	4	304	1	1					
その他				115	1	-	110	2	2					

※保健所採血等による実施は保健所に、受診券による実施は委託分に計上

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

(9) 管理検診実施状況

表1-(9) 管理検診実施状況

区分 年	対象者数 (実人数) ①	実施者数 (実人数) ②	実施率 ②/① (%)	実施件数 (延件数)	エックス線撮影	喀痰検査		結果(実人数)			
						塗抹	培養	観察不要	経過観察	要医療 ③	要医療率 ③/② (%)
平成26年度	535	393	73.5	393	393	-	-	382	11	-	-
平成27年	347	286	82.4	443	443	-	-	86	357	-	-
平成28年	352	317	90.0	395	395	-	-	306	10	1	0.3
保健所	/			78	78	-	-	/			
委託分				41	41	-	-				
その他				276	276	-	-				

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

(10) 結核医療費公費負担診査状況

表1-(10)-ア 通院患者に対する結核医療費公費負担診査状況(37条の2) (単位:件)

区分 年	総数			被用者保険						国民健康保険			後期高齢者			生活保護法			その他		
				本人			家族			保険											
	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格	諮問	合格	不合格
平成26年度	206	205	1	53	53	-	26	26	-	55	55	-	55	54	1	16	16	-	1	1	-
平成27年	195	195	-	55	55	-	14	14	-	52	52	-	49	49	-	23	23	-	2	2	-
平成28年	231	231	-	44	44	-	18	18	-	73	73	-	89	89	-	6	6	-	1	1	-

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

表1-(10)-イ 入院患者に対する結核医療費公費負担状況(37条) (単位:件)

区分 年	総数	被用者保険			国民健康 保 険	後期高齢者	生活保護法	そ の 他
		本 人	家 族					
平成26年度	44	6	-	9	20	7	2	
平成27年	45	4	1	14	21	5	-	
平成28年	41	7	2	10	21	1	-	

※本表は実人数で計上

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

(11) 就業制限通知及び入院勧告並びに入院措置数

表1-(11)-ア 就業制限通知数 (単位:件)

区分 年	総数
平成 26 年度	45
平成 27 年	43
平成 28 年	40

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

表1-(11)-イ 入院勧告数 (単位:件)

区分 年	応急入院勧告数 (19条第1項)	入院勧告数 (20条第1項)	入院延長通知数 (20条第4項)
平成 26 年度	49	43	83
平成 27 年	44	43	83
平成 28 年	41	40	53

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

表1-(11)-ウ 入院措置数

(単位:件)

区分 年	入院措置数
平成 26 年度	—
平成 27 年	—
平成 28 年	1

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

(12) ツベルクリン反応検査・IGRA検査実施状況

表1-(12)-ア ツベルクリン反応検査実施状況

(単位:件)

年	ツ反検査数(延件数)		発赤径			被検者の年齢		
	保健所	委託分	陰性	30mm未満	30mm以上	未就学児	小学生	その他
平成26年度	130	26	26	126	4	115	41	-
平成27年	-	29	7	22	-	29	-	-
平成28年	-	5	2	3	-	5	-	-

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

表1-(12)-イ IGRA検査実施状況 (単位:件)

年	IGRA検査数(延件数)		結果			
	保健所	委託分	陰性	判定保留	陽性	判定不可
平成26年度	379	122	493	41	44	4
平成27年	261	138	330	21	45	3
平成28年	477	180	589	23	44	1

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

(13) エックス線検査実施状況

表1-(13) エックス線検査実施状況

(単位:件)

年	総数		接触者		管理	
	保健所	委託分	保健所	委託分	保健所	委託分
平成26年度	560	479	468	444	92	35
平成27年	464	445	364	399	100	46
平成28年	480	381	402	340	78	41

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

(14) 定期結核健康診断実施報告状況

年 区分	項目			間 接 撮 影 件 数	直 接 撮 影 件 数	喀 痰 検 査 件 数	発 病 の お そ れ が あ る 者 の 数	患 者 発 見 数 ③	患 者 発 見 率 ③/② (%)	
	対 象 者 数 ①	健 診 者 数 ②	健 診 率 ②/① (%)							
平成 26 年度	229,851	79,177	34.4	34,568	44,609	3	-	2	0.003	
平成 27 年	229,740	80,710	35.1	35,901	44,809	18	-	1	0.001	
平成 28 年	242,477	81,059	33.4	14,892	66,167	3	3	5	0.006	
内 訳	学校長 (高校以上の生徒・学生)	14,347	14,038	97.8	5,911	8,127	1	-	1	0.007
	施設長 福祉施設入所者 (65歳以上)	3,076	2,985	97.0	968	2,017	1	2	1	0.034
	施設長 その他施設 入所者	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	事業者	22,258	21,569	96.9	8,013	13,556	1	-	1	0.005
	市町村長	202,796	42,467	20.9	-	42,467	-	1	2	0.005

※平成27年度以降は年(1月1日~12月31日)で集計

(15) 結核予防啓発活動実施状況

表1- (15) 結核予防啓発活動実施状況

実施日	場 所	形 態	テ ー マ	実施対象	参加人数 (人)
平成28年 9月5日	松戸保健所	研修会	早期発見による感染予防を目指して ~増えている高齢者結核への対応~	高齢者福祉サ ービス提供事 業所関係者	87

2 感染症予防事業

(1) 1類感染症発生状況

表2-(1) 1類感染症発生状況 (単位：人)

年	疾患名	人数	市町村
平成28年	—	—	—

(2) 2類感染症発生状況（結核は除く）

表2-(2) 2類感染症発生状況 (単位：人)

年	疾患名	人数	市町村
平成28年	—	—	—

(3) 3類感染症発生状況

表2-(3) 3類感染症発生状況 (単位：人)

病類 年・市町村	総数	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性	腸チフス	パラチフス
				大腸菌 感染症		
平成26年	25	—	—	25	—	—
平成27年	27	—	1	26	—	—
平成28年	19	—	—	19	—	—
松戸市	9	—	—	9	—	—
流山市	1	—	—	1	—	—
我孫子市	3	—	—	3	—	—
その他 (管外)	6	—	—	6	—	—

(4) 4類感染症発生状況

表2-(4) 4類感染症病発生状況

(単位：人)

疾患名	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
1 E型肝炎	-	1	-
2 ウエストナイル熱	-	-	-
3 A型肝炎	1	1	-
4 エキノコックス症	-	-	-
5 黄熱	-	-	-
6 オウム病	-	-	-
7 オムスク出血熱	-	-	-
8 回帰熱	-	-	-
9 キャサヌル森林病	-	-	-
10 Q熱	-	-	-
11 狂犬病	-	-	-
12 コクシジオイデス症	-	-	-
13 サル痘	-	-	-
14 ジカウイルス感染症	…	…	-
15 重症熱性血小板減少症候群(病原体がフ レボウイルス属SFTSウイルスであ るものに限る。)	-	-	-
16 腎症候性出血熱	-	-	-
17 西部ウマ脳炎	-	-	-
18 ダニ媒介脳炎	-	-	-
19 炭疽	-	-	-
20 チグングニア熱	-	-	-
21 つつが虫病	1	-	1
22 デング熱	1	1	1
23 東部ウマ脳炎	-	-	-
24 鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ (H5N1 及びH7N9)を除く)	-	-	-
25 ニパウイルス感染症	-	-	-
26 日本紅斑熱	-	-	-
27 日本脳炎	-	-	-
28 ハンタウイルス肺症候群	-	-	-
29 Bウイルス病	-	-	-
30 鼻疽	-	-	-
31 ブルセラ症	-	-	-
32 ベネズエラウマ脳炎	-	-	-
33 ヘンドラウイルス感染症	-	-	-
34 発しんチフス	-	-	-
35 ボツリヌス症	-	1	-
36 マラリア	-	1	1
37 野兔病	-	-	-
38 ライム病	-	-	-
39 リッサウイルス感染症	-	-	-
40 リフトバレー熱	-	-	-
41 類鼻疽	-	-	-
42 レジオネラ症	11	6	16
43 レプトスピラ症	-	-	-
44 ロッキー山紅斑熱	-	-	-

※14の疾患は平成28年2月より届出の対象となった。

(5) 5類感染症発生状況

ア 感染症発生動向調査事業に基づく全数把握対象感染症

表2- (5) -ア 5類感染症発生状況

(単位：人)

疾患名		平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年
1	アメーバ赤痢	9	15	14
2	ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)	-	-	-
3	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	2	6	4
4	急性脳炎(ウエストナイル脳炎、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、東部ウマ脳炎、日本脳炎、ベネズエラウマ脳炎及びリフトバレー熱を除く)	13	11	10
5	クリプトスポリジウム症	-	-	-
6	クロイツフェルト・ヤコブ病	3	-	1
7	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2	1	3
8	後天性免疫不全症候群	10	12	13
9	ジアルジア症	1	-	-
10	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1	3
11	侵襲性髄膜炎菌感染症	-	-	-
12	侵襲性肺炎球菌感染症	5	8	29
13	水痘(入院例に限る。)	-	1	1
14	先天性風しん症候群	-	-	-
15	梅毒	7	6	29
16	播種性クリプトコックス症	-	-	2
17	破傷風	-	1	-
18	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症	-	-	-
19	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	-	-	-
20	風しん	-	1	-
21	麻しん	19	-	16
22	薬剤耐性アシネトバクター感染症	-	1	-

※3, 13, 16, 22の疾患は平成26年9月より届出の対象となった

イ 感染症発生動向調査事業に基づく定点報告状況

(ア) 患者定点

a 患者定点医療機関

表2-(5)-イ-(ア)-a 患者定点医療機関数

(単位：箇所)

インフルエンザ	小児科	眼科	性感染症	基幹	疑似症
25	16	5	6	1	44

b 定点把握対象疾患

表2-(5)-イ-(ア)-b 定点把握対象疾患状況

(単位：人)

	疾患名	平成26年	平成27年	平成28年
1	インフルエンザ(鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症を除く)	13,428	6,957	11,811
2	RSウイルス感染症	592	604	511
3	咽頭結膜熱	475	909	452
4	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1,765	2,836	3,071
5	感染性胃腸炎	4,840	5,149	7,176
6	水痘	871	587	427
7	手足口病	653	1,850	1,107
8	伝染性紅斑	296	711	95
9	突発性発しん	513	486	451
10	百日咳	14	20	4
11	ヘルパンギーナ	703	494	710
12	流行性耳下腺炎	650	523	775
13	急性出血性結膜炎	-	1	6
14	流行性角結膜炎	42	393	162
15	性器クラミジア感染症	161	154	158
16	性器ヘルペスウイルス感染症	72	66	88
17	尖圭コンジローマ	32	32	33
18	淋菌感染症	50	43	38
19	感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)	3	4	-
20	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-
21	細菌性髄膜炎(髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。)	2	5	1
22	マイコプラズマ肺炎	-	9	98
23	無菌性髄膜炎	8	5	15
24	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	-	-	2
25	メシチリン耐性黄色ブドウ菌感染	34	55	40
26	薬剤耐性緑膿菌感染症	2	1	2

(イ) 病原体定点

表 2 - (5) - イ - (イ) 病原体定点医療機関及び検体提供数

区 分	インフルエンザ	小 児 科	眼 科	基 幹
医療機関数 (箇所)	3	1	-	1
検体提供数 (件)	44	2	-	0

(6) その他

表 2 - (6) インフルエンザ様疾患届出状況 (単位：件)

年度 区分	届 出 施設数	届 出 患者数	措 置			
			学 級 閉鎖数	学 年 閉鎖数	休校数	その他
平成 26 年度	229	2,093	207	21	1	-
平成 27 年度	353	2,815	340	13	0	-
平成 28 年度	216	3,317	201	14	1	-
幼 稚 園	12	179	10	1	1	-
小 学 校	171	2,508	163	8	0	-
中 学 校	26	577	24	2	0	-
高等学校	2	25	2	0	0	-
そ の 他	5	28	2	3	0	-

(7) 感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

ア 1類感染症

表 2 - (7) - ア 1類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況

年度	病 類	疾 患 名	調 査 (人)	検 査 (件)
平成 28 年度		-	-	-

イ 2類感染症

表 2 - (7) - イ 2類感染症発生に伴う健康調査及び検査実施状況 (結核は除く)

年度	病 類	疾 患 名	調 査 (人)	検 査 (件)
平成 28 年度		-	-	-

*MERS健康監視者 対応 2名

ウ 3類感染症

表2-(7)-ウ 3類感染症発生に伴う健康調査及び検便実施状況

(単位：調査(人)，検便(件))

年度	病類		コレラ		細菌性赤痢		腸管出血性大腸菌感染症		腸チフス		パラチフス		菌陽性者数
	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	調査	検便	
平成26年度	27	214	-	-	3	9	24	205	-	-	-	-	9
平成27年度	28	238	-	-	1	4	27	234	-	-	-	-	22
平成28年度	16	67	-	-	-	-	15	65	1	2	-	-	1

エ 4類感染症

表2-(7)-エ 4類感染症健康調査状況

(単位：人)

区分	疾患名	調査
平成28年度	つつが虫病	1
	デング熱	1
	レジオネラ症	17

*養鶏場における高病原性鳥インフルエンザ(H5N6)発生にかかる健康観察者32名

オ 5類感染症

表2-(7)-オ 5類感染症健康調査状況

(単位：件・人)

区分	疾患名	調査
平成28年度	感染性胃腸炎	45件(347人)・相談対応42件
	インフルエンザ	61件
	麻しん・麻しん疑い	16件・63件

*管外での麻しん発生に伴う情報提供による接触者の健康観察 10人
管外での麻しん発生に伴う調査依頼1件。接触者160名の健康観察を実施。施設による麻しん対策会議への参加及び対応について助言。

(8) 管外での感染症発生（疑いを含む）に伴う調査状況及び検便実施状況

表2-(8) 管外での感染症発生（疑いを含む）に伴う調査数及び検便実施数

(単位：調査(人))

区分 年度	総 数	管外での感染症 発生に伴う調査数 (検疫通報除く)	自主申告による 調査数	検疫通報に伴う 接触者及び同行者 調査数	検便実施者数 (件)	検 出 菌			
						コレ ラ	赤 痢	○ 157	そ の 他
平成26年度	18	18	-	-	9	-	-	-	-
平成27年度	4	4	-	-	3	-	-	-	-
平成28年度	17	17	-	-	17	-	-	-	-

(9) 衛生研究所への確認検査依頼数

表2-(9) 衛生研究所への確認検査依頼数 (単位：件)

区分	疾 患 名	結 果		計
		陽 性	陰 性	
	麻しん疑い	16	63	79
	鳥インフルエンザ疑い	0	1	1

(10) 就業制限通知数（結核を除く）

表2-(10) 就業制限通知数 (単位：件)

区分 年度	疾 患 名			計
	細菌性赤痢	腸管出血性大腸 菌感染症	-	
平成26年度	3	25	-	28
平成27年度	1	26	-	27
平成28年度	-	14	-	14

(11) 感染症予防啓発活動実施状況

ア 感染症予防対策研修会実施状況

表2 - (11) - ア 感染症予防対策研修会実施状況

実施日	場 所	テ ー マ	実施 対象	参加人数 (人)
平成28年 8月10日	東葛飾合同 庁舎6階 第1会議室	<u>乳幼児施設等における感染症予防対策研修会</u> ① 管内の感染症発生状況 松戸保健所 感染症担当 ② アタマジラミについて 松戸保健所 環境担当 ③ 実施報告「各市における感染症対策について」 松戸市・流山市・我孫子市 担当職員 ④ 講演「乳幼児施設において感染症対策はどう進めるか」 講師 千葉感染制御研究所 代表 柴田幸治 氏 ⑤ グループワーク おむつ交換の実践 ⑥ ミニディスカッション	保育所、 認可外 保育所、 幼稚園 等の職 員	94
平成28年 9月5日	東葛飾合同 庁舎6階 第1会議室	<u>高齢者・障害者福祉施設等における感染症予防対策研修会</u> ① 管内の感染症発生状況 松戸保健所 感染症担当 ② 講演「施設内感染症対策～感染症を広げない為の対策～」 講師 千葉感染制御研究所 代表 柴田幸治 氏 ③ 講演「施設としてやらなければならないこと」 講師 松戸市立福祉医療センター東松戸病院 感染管理認定看護師 小倉恵美 氏	高齢者、 障害者 社会福 祉施設 等の職 員、市担 当職員	119
平成29年 3月13日	東葛飾合同 庁舎6階 第1会議室	<u>医療機関における感染症対策研修会</u> 『医療機関における院内感染対策について』 ① 講演「平成26・28年に経験した麻しんの 集団発生における当院の対応」 講師 千葉西総合病院 副看護部長 医療安全管理者 山崎ゆかり 氏 ② 講演「耐性菌が検出されたらどうする？ ～感染対策は文化と成り得るか？～」 講師 順天堂大学医学部附属浦安病院 院内感染対策室 千葉ネット幹事 中澤 武司 氏	医療機関 の感染対 策担当 職員、事 務職員	75

イ 市への支援

松戸市感染対策委員会に出席し、講話（感染症に関する情報提供）を行った。

表 2 - (1 1) - イ 市への講話実施状況

実施日	場 所	テ ー マ	参加人数 (人)
平成28年5月26日	松戸市役所 別館 地下研修室	第1回 感染症対策委員会（松戸市） ・講話「蚊媒介感染症を中心に」 松戸保健所 次長 青山均 ・蚊媒介感染症 ・新型インフルエンザ等対策について ・平成28年度連絡体制 ・情報交換 その他	43
平成28年11月24日	松戸市役所 別館 地下研修室	第2回 感染症対策委員会（松戸市） ・講話「今季の感染症対策について ～インフルエンザ、感染性胃腸炎、 麻疹等について～」 松戸保健所 次長 青山均 ・松戸市新型インフルエンザ等対策について 業務継続計画（BCP）について 対応マニュアルについて ・情報交換 その他	43

ウ 院内感染対策に関する指導

医療施設立入検査 36 施設の際に、院内感染のための指針や院内感染対策委員会の設置、研修会の実施、院内感染対策マニュアルの整備等に関し院内感染対策の視点から検査・指導を実施した。また、麻疹アウトブレイクの際には、迅速な情報共有と院内感染対策強化のため、麻疹を診療した医療機関のうち3施設に直接出向き、トリアージ体制・外来の動線、夜間休日診療・連絡体制を確認し、助言・意見交換を行った。うち1施設にはJ-FETP（国立感染症研究所 実地疫学専門家養成コース）も導入し、対応の強化を図った。

エ 社会福祉施設・学校等への感染対策の指導

介護老人保健施設5施設に対し、監査指導課に随行し、感染症対策に関して実地指導を行った。また、感染症発生時には、随時疫学調査及び感染拡大防止策のための指導を148施設に実施した。

オ 所内における感染症対策に関する研修会

実施日	場 所	テ ー マ	参加人数 (人)
平成28年8月18日	松戸保健所 指導室	院内感染対策について	9

(12) 松戸保健所感染症情報ネットワークシステム

管内における感染症情報の迅速な共有を図るとともに、松戸健康福祉センター（松戸保健所）と、関係機関の連携強化を図るため『松戸保健所感染症情報ネットワークシステム』を構築し、平成24年8月より運用を開始した。ネットワークシステム登録者（医師会・医療機関・歯科医師会・歯科医院・薬剤師会・薬局・市・教育委員会・学校・社会福祉施設等の関係機関等）に対し、感染症に関する情報を月1回定期的に一斉配信、また、必要に応じ随時、臨時で配信している。当初の登録機関は125件であったが、周知啓発により平成28年度末には416件の登録となった。平成28年度の感染症情報配信は、定期配信12回、臨時配信は27回（表2-(12)）であった。

表2-(12) 感染症情報 臨時配信状況

配信日	内容
平成28年5月24日	ジカウイルス感染症リスクアセスメント・Q&A
平成28年5月27日	アンゴラ等で黄熱流行 医療機関での麻しん対応ガイドライン
平成28年7月20日	蚊媒介感染症の診療ガイドライン改定(第3版)
平成28年7月26日	松戸保健所管内で麻しんの発生
平成28年8月4日	松戸保健所管内麻しん発生情報②
平成28年8月10日	松戸保健所管内麻しん発生情報③
平成28年8月17日	麻しん対策会議の開催について 松戸保健所管内麻しん発生情報⑤
平成28年8月18日	松戸保健所管内麻しん発生情報⑥
平成28年8月19日	松戸保健所管内麻しん発生情報⑦ 院内感染対策の強化についてお願い
平成28年8月20日	松戸保健所管内麻しん発生情報⑧
平成28年8月29日	松戸保健所管内麻しん発生情報⑨ 麻しんに関する緊急情報（国立感染症研究所） 麻しんの広域的発生について（厚労省）
平成28年9月1日	松戸保健所管内麻しん発生情報⑩ 関西空港の麻しん関連情報
平成28年9月26日	松戸保健所管内の麻しん(遺伝子型D8)アウトブレイク終息
平成28年9月29日	松戸保健所管内の麻しんのアウトブレイク終息について
平成28年10月3日	松戸市内の小中学校でインフルエンザ様疾患による学級閉鎖

平成 28 年 10 月 5 日	松戸市内の小学校でインフルエンザ様疾患による学級閉鎖
平成 28 年 11 月 24 日	松戸保健所管内における結核の集団感染事例
平成 28 年 11 月 25 日	インフルエンザ流行シーズン入りについて 結核に関する特定感染症予防指針を改正
平成 28 年 12 月 9 日	千葉県 感染性胃腸炎警報の発令 薬剤耐性 (AMR) 対策について
平成 28 年 12 月 22 日	千葉県内での麻しん発生
平成 29 年 1 月 26 日	千葉県内の高齢者施設インフルエンザ集団発生で死亡例
平成 29 年 2 月 9 日	インドネシアから帰国した麻しん患者発生 (広島県)
平成 29 年 2 月 13 日	麻しんの集団発生 (三重県) 黄熱に関する情報提供
平成 29 年 2 月 16 日	鳥インフルエンザ A(H7N9)ウイルスによる感染事例に関するリスクアセスメント 麻しん及び風しんの定期接種(第2期)対象者に対する積極的な接種奨励並びにワクチンの供給等について
平成 29 年 3 月 21 日	麻しん患者発生について (北海道 新千歳空港)
平成 29 年 3 月 27 日	バリ島から帰国した麻しん患者発生について (山形県) 麻しん患者発生 (高松市) 管内通学の学生、麻しんと診断 (山形県事例関連 東京在住)
平成 29 年 3 月 31 日	鳥インフルエンザ A(H7N9)に関するリスクアセスメント ジカウイルス感染症に関する情報提供について ジカウイルス感染症診療 Q & A 麻しんについて IASR 特集「麻しん 2016 年」 関西空港・尼崎市・首都圏遺伝子型 D8 の麻しん発生事例 新年度体制について

(13) 感染症健康危機管理事業

ア 新型インフルエンザ等地域医療委員会

表 2-(13)-ア 新型インフルエンザ等地域医療委員会開催状況

開催月日	出席者数	主な協議内容
平成28年11月10日	50名	(1) 新型インフルエンザ等対策 ～県内感染期～ 松戸保健所 所長 新 玲子 (2) 新型インフルエンザ等対応訓練報告 ① 病院の訓練報告 千葉西総合病院 副看護部長 山崎 ゆかり 氏 ② 一般診療所(小児科)の訓練報告 松戸市医師会 理事 島田 薫 氏 ③ 意見交換 (3) その他 ① 新型インフルエンザ等対策について～平時における松戸市の取り組み～ 松戸市健康福祉政策課 指導監 長谷川 明美 氏 ② 特定接種(医療分野)のシステム登録開始への対応について

イ 新型インフルエンザ等訓練、その他会議

表 2 - (1 3) - イ 新型インフルエンザ等訓練、その他会議実施状況

開催月日	参加者数	内容
平成28年7月7日	11機関 22名	平成28年度感染症に関する情報交換会（市・消防・警察・保健所） Ⅰ 新型インフルエンザ等対策について （1）新型インフルエンザ対策「国内(地域)感染期の体制について」 （2）救急搬送において医療機関初診時『インフルエンザ』と診断された件数 （3）特定接種について Ⅱ エボラ出血熱患者発生を想定した机上訓練
平成28年7月28日	3機関 7名	平成28年度感染症検体搬送訓練（松戸市立病院） MERS 疑い患者を想定した検体受け渡し訓練
平成28年8月2日	23名	平成28年度新型インフルエンザ等対応訓練（一般診療所） 県内感染期におけるトリアージ及び対応訓練、訓練後の反省会
平成28年10月11日	62名	平成28年度新型インフルエンザ等対策訓練(病院) 県内感染期におけるトリアージ及び対応訓練、訓練後の反省会

ウ 所内における感染症健康危機管理に関する研修会・訓練

表 2 - (1 3) - ウ 所内研修会・訓練実施状況

実施日	場所	テーマ	参加人数 (人)
平成28年 4月15日 4月18日 4月21日	松戸保健所 会議室	感染症についての講話 AED 操作 N95 マスクのフィットテスト 防護服等着脱訓練	78
平成28年8月18日	東葛飾合同 庁舎駐車場	車いす型アイソレーター使用による感染 症患者の移送訓練	10

(1 4) 麻しん対策会議・麻しんシンポジウムの開催

海外渡航歴のない成人女性（平成28年7月22日発症）を発端として、疫学的にリンクのある遺伝子型 D8、計13名の患者が確認され、麻しん撲滅宣言後初の国内アウトブレイク事例となった。

患者調査19名（ワクチン株3名含む）、接触者調査2450名行い、複数の麻しん患者が発生した医療機関ではFETPを導入し、対策の強化をはかった。また、2施設による麻しん対策会議へ参加し、対応について助言。12回の麻しん関連の情報を配信。平成28年9月24日に終息を迎えた。

平成28年8月17日麻しん対策会議（表2 - (1 4) - ア）、平成28年12月15日麻しんシンポジウム（表2 - (1 4) - イ）、他連携会議16回開催している。

また、平成29年3月13日に実施した、医療機関対象の院内感染対策研修会でも麻しんについて取り上げ、医療機関における麻しん対策について一層の周知をはかった（表2 - (1 1) - ア）。

表 2 - (1 4) - ア 麻しん対策会議開催状況

開催月日	参加者数	内容
平成28年8月17日	97 機関 131 名	(1) 麻しんについて (2) 患者発生状況 (3) 拡大防止対策

表 2 - (1 4) - イ 麻しんシンポジウム開催状況

開催月日	参加者数	内容
平成28年12月15日	88 機関 133 名	<p>議題 『麻しんのアウトブレイクから地域における麻しん対策を考える』</p> <p>I (1) 基調講演 「はしかを見直す！～麻しん排除前後の対応～」 川崎市健康安全研究所 所長 岡部信彦氏</p> <p>(2) シンポジウム</p> <p>① 麻しん発生 (アウトブレイク) 時対応の概要 松戸保健所 古賀 晴美 ② 病院における対応 国保松戸市立病院 小森 功夫 氏 ③ クリニックにおける対応 松戸市医師会長 和座 一弘 氏 ④ 保育施設における対応 松戸市幼児保育課 芦田 裕美子 氏 ⑤ ワクチン接種について 国立感染症研究所 多屋 馨子 氏</p> <p>II 教育講演 「2016年の麻疹を振り返る～臨床診断と検査診断～」 国立感染症研究所 感染症疫学センター 多屋 馨子 氏</p>

3 エイズ対策事業

(1) エイズ予防啓発活動実施状況

ア 講演会・講習会等開催状況

表 3 - (1) - ア 講演会・講習会等実施状況

実施日	場 所	活動内容	テ ー マ	対 象	参加人数 (人)
平成28年8月5日	東葛飾 合同庁舎 6階 第1会議室	研修会	「多様性を認め子どもの自己肯定間を育てる～クラスに1～2人はいるかもしれない性的マイノリティ～」 講師：特定非営利活動法人 SHIP 理事長 星野 慎二 氏	管内小学校・ 中学校・高等 学校・特別支 援学校の校 長・教頭、各 市保健師、助 産師等	44

平成28年8月19日	東葛飾 合同庁舎 6階 第1会議室	研修会	「現場で活かす子どもたちの心と体を育てる教育 生きるための心の教育（性教育）を用いて」 講師：東京医療保健大学 医療保健学部看護学科 准教授 渡會 睦子 氏	管内小学校・ 中学校・高等 学校・特別支 援学校の保健 主事・養護教 諭・保健体育 教諭、各市保 健師、助産師 等	20
------------	----------------------------	-----	--	---	----

イ HIV 検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

表 3 - (1) - イ HIV 検査普及週間・世界エイズデー等のイベント実施状況

実施日	主 な 内 容
平成 28 年 11 月 25 日～ 12 月 6 日	啓発のため、エイズ・STD 予防啓発グッズ等を配布。 【配布物】HIV 検査啓発ポケットティッシュ（1000 個）、パンフレット「みんな知ってる？STI」（1175 部）、パンフレット「知っていますか？STD・エイズのこと」（562 部）、ストップエイズ啓発「チーバくんクリアファイル」（1737 部）エイズ啓発用コンドーム（100 個）、性感染症予防啓発リーフレット（130 部）、性感染症予防啓発ポスター（1 枚） 【配布先】新京成線松戸駅・八柱駅、流鉄線沿線全 6 駅、北総線東松戸駅、千葉県立流山南高等学校、千葉県立おおたかの森高等学校、千葉県立我孫子高等学校、千葉県立我孫子東高等学校、J R 松戸駅、松戸健康福祉センター検査窓口

(2) エイズ相談受付状況

表 3 - (2) エイズ相談受付状況 (単位 : 件)

年度	性別	相談方法				合計
			男	女	小計	
平成 26 年度		電話相談	87	37	124	140
		来所相談	11	3	14	
		その他	2	0	2	
平成 27 年度		電話相談	46	39	85	157
		来所相談	22	20	42	
		その他	30	0	30	
平成 28 年度		電話相談	29	14	43	46
		来所相談	3	0	3	
		その他	0	0	0	

(3) HIV・性感染症・肝炎検査受付状況

表3-(3)-ア HIV検査受付状況 (単位：件)

年度 年齢階級	性別		合計	外国籍 者数(人)	確認検査 件数	
	男	女				
平成26年度	273	180	453	0	4	
平成27年度	305	153	458	6	1	
平成28年度	245	129	374	3	4	
年齢 階級	～19歳	5	11	16	0	0
	20歳～29歳	78	60	138	2	1
	30歳～39歳	54	34	88	1	0
	40歳～49歳	59	20	79	0	3
	50歳～59歳	28	1	29	0	0
	60歳～69歳	11	3	14	0	0
	70歳～	10	0	10	0	0
	不明	0	0	0	0	0

表3-(3)-イ 性感染症・肝炎検査受付状況 (単位：件)

検査 性別 年度	クラミジア検査			梅毒血清検査			肝炎検査					
							C型肝炎検査			B型肝炎検査		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
平成26年度	413	249	164	425	254	171	458	267	191	467	271	196
平成27年度	359	254	105	405	273	132	395	262	133	392	261	131
平成28年度	308	210	98	363	235	128	370	241	129	369	240	129

※クラミジア検査は平成27年度から病原体検査，それ以前は抗体検査

※肝炎検査は肝炎対策事業として実施

4 原爆被爆者対策事業

被爆者の健康増進を図るため、被爆者健康診断及び健康相談を年2回実施し、健康の保持増進を図った。

(1) 被爆者手帳交付状況

表4- (1) 被爆者手帳交付状況 (単位：件)

年度 市町村	区分	前年度末 手帳交付数	新規	転入	転出	死亡	当該年度末 手帳交付数
平成26年度		362	1	4	1	9	357
平成27年度		353	-	-	4	13	336
平成28年度		336	-	1	2	21	314
松戸市		203	-	-	1	16	186
流山市		73	-	-	1	2	70
我孫子市		60	-	1	-	3	58

(注) () は被爆者健康診断受診証交付数で総数に含まず。

(2) 被爆者健康診断実施状況

表4- (2) 被爆者健康診断実施状況 (単位：人)

年度	施設		対象者数	受診者数	受診率(%)	要精検者数
平成26年度	保健所	前期	349	23	6.6	1
		後期	343	24	7.0	1
	委託医療機関		-	120	-	52
平成27年度	保健所	前期	339	24	7.1	0
		後期	326	20	6.1	1
	委託医療機関		-	137	-	51
平成28年度	保健所	前期	328	21	6.4	0
		後期	324	22	6.8	0
	委託医療機関		-	107	-	42

(3) 特別措置法に基づく各種手当の支給状況

表4-(3) 特別措置法に基づく各種手当の支給状況 (単位：件)

区分 \ 年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
総数	311	294	279
医療特別手当	20	18	16
特別手当	1	1	3
原子爆弾小頭症手当	-	-	-
健康管理手当	262	247	226
保健手当	15	15	15
介護手当	2	2	2
埋葬料	11	11	17
健康手当	283	266	245

(注) 健康手当は、県単独事業であり総数に含まず。